

## 平成 29 年度 第 2 回理事会議事録 (抄)

日時：平成 29 年 7 月 14 日 (金) 13 時 30 分～17 時

場所：麵業会館 4 階 会議室

### 1 議長及び議事録署名人指名

議長：中谷理事長 議事録署名人：理事長、両監事

### 2 定足数確認

【出席者】 理事長 中谷真一 副理事長 北村忠一 唐橋 宏

理 事 佐藤正光、阿部成男、小笹富貴子、山本剛、廣澤幸雄、芳田時夫

落合輝美、加藤憲、板倉敏和、藤間英雄

監 事 安井良博 腰原好

事務局 横田節子

【欠席者】 谷端淳一郎

### 3 議長挨拶 中谷理事長

### 4 報告事項

#### (1) 事務局 藤間説明

① 入会承認 資料 1 了承

② 29 年度全麵協収支途中経過報告 資料 2 了承

#### (2) 段位認定事業部 加藤説明

① 四段位認定講習会開催結果報告 了承

② 五段位認定講習会開催結果報告 了承

③ 四段位認定書類審査の実施途中経過説明 了承

④ 五段位認定会一次審査実施と筆記試験開催予定説明 了承

⑤ 地方審査員任用講習会開催結果報告 了承

⑥ 段位認定審議会開催結果報告 了承

⑦ 全国認定会開催時における交流会の取りやめ 了承

⑧ 専門チーム員の増強 資料 3 了承

#### (3) 地域振興部企画渉外部会 29 年度事業進捗状況について 廣澤、芳田説明

① 第 11 回海外そば産地視察・交流事業について 了承

② 新・日本蕎麦大学講座開催 (10/22 北海道北竜町) (30 年 2 月山形県寒河江市) 予定 了承

③ 国内そば研修について 了承

④ 子供そば打ち体験事業について 22 団体が申請 了承

⑤ 単位取得制度の運用について 了承

⑥ 行政機関、関係団体との折衝、連携、連絡について 了承

⑦ 本部支部担当者連絡会議開催 (6/9) 結果報告 了承

⑧ 安全管理ガイドライン委員会開催 (7/26) 予定 了承

#### (4) 支部報告 中日本支部事業予定 了承

### 5 議題

#### (1) 事務局

段位認定会における上位成績者の表彰について (藤間提案)

藤間：(機関紙「我々は競争しない」全麵協藤間理事投稿についての反論を紹介して)  
30年度から三段位認定会の表彰を止めたらどうか。

阿部：事務局長の発言としてはふさわしくない。

藤間：全麵協の理事としての発言である。

加藤：今後表彰は中止にしたいと考えている。

板倉：支部開催の初、二段、三段までは自由でよいのではないか。

唐橋：表彰はしてもよいと思う。

佐藤：北海道は100%表彰をしている。副賞もある。

阿部：東日本支部で表彰をしていないのはNPO法人そばネット埼玉主管の認定会のみ。

小笹：中日本は初二段は表彰がある、三段は無し。

山本：表彰無し。

この件は引き続き検討することを了承。

## (2) 地域振興部地域振興部会

一般社団法人全麵協「日本そば博覧会」開催要項(案)芳田説明

佐藤：補助金はなくなったのか。

芳田：予算の地域活性化支援事業費の活用もありうる。

唐橋：地域の実情を考慮していない。ハードルを高くしていないか。予算のかからないそば博もあってもよい。

北村：7条の安心・安全についてはどう考えているのか。

芳田：これから委員会で検討する。

中谷：7条にあるとおり安心安全な食を提供するため安全衛生のガイドラインを作成、そば打ち現場の管理体制を主導したい。

この件了承

## (3) 段位認定事業部 加藤説明

### ① 段位認定制度審議会の答申結果

加藤：(資料8, 9説明)上位段の創設については決定してもらいたい。

佐藤：四段から五段への道筋、五段認定会の赤字解消も含めて検討すべき。

阿部：五段を最高段位と定めた経緯を検証した上で創設すべき。

唐橋：五段から上は指導者、段位の名称を変えるべき。

佐藤：受験料、認定料が安すぎる。赤字を出さないようにすべき。

北村：まず四段位から考えるべき。四段位がスムーズに五段位に昇段できるようにしてから上位段を設置してはどうか。上位段創設は時代の流れで六、七、八段はよい。

山本：審議会の外部委員には上位段創設に至る経緯を説明し六、七、八段創設は了承されたが、会員には広く状況説明が必要ではないか。

結論 最高段位に関する機関決定を変更することは決定。上位段の具体的内容については今後詰める。

### ② 段位認定会審査員制度の改革 資料10, 11 提案説明

加藤：全国審査員の任期を5年とし、現状は更新手続きがないので更新手続きをするようにし

たい。

唐橋：四段からは地方審査員ではなく認定指導員としこの中から審査員を選任したらどうか。

佐藤：四段位認定者は認定後2年経過した者にとあるが、3年経過で良いのではないか。

地方審査員証はいつ発行するのか、忙しいなら支部が発行したらどうか、写真入りカードでなくてよい。地方審査員更新手数料の、10,000円は高い。5,000円が適当ではないか。

藤間：実費を考えると10,000円は妥当だ。

山本：詳細は専門チームで議論し、決めていくのが良いのではないか。

加藤：理事会の意向を受けて 詳細を詰めた。 了承

③ 四段位技能審査会東京認定会の開催 了承

④ 地方審査員の任用

加藤：今、順調に手続きの準備を進めていますので8月下旬に任命を予定しています。

安井：10月の認定会審査員を今回任命された審査員に変更をしたいが可能か。

加藤：可能です。

(4) 支部提案議題

① 東日本支部 「支部で開催する段位認定会の現状と対応策検討について」

阿部：(資料14の説明)初二段の受験者が東日本支部において減少をしている。また、今期赤字のため、認定会開催を取りやめたいという団体がある。一度開催を取りやめると再度開催することが難しいので、少人数の受験者に対応した認定会を考えてほしい。

佐藤：北海道は以前から減少をしている。そば打ちの高齢化も伴っている。また若い方たちの奨励が遅れている。北海道支部では補助金を出している。

また、認定会審査員は近隣の方をお願いして交通費のかからないよう工夫をしている。

唐橋：初段受験者の減少は別の原因もある。マスコミを利用したPR、窓口のアナウンスとか。

加藤：減少というより横ばいだ。PR不足はある。西日本支部のように新しいところの開拓や日廻連のそば打ち教室の引き受けとか新しい方法を考えている。

板倉：日本全体の人口も減少しているし、流行というのでも否めない。

中谷：いろいろ方法は考えている。大きなイベントは手を挙げずらいが、そばが交流の好材料になるということで掘り下げた地域振興が大事になる。

横田：段位認定に関わる事務局担当としては来年は認定料の値下げもあるようなのでその結果も見たい。

中谷：この問題は支部の意見も聞いた上で担当部会で検討させたい。 了承

(5) 次回 第3回理事会 平成29年11月16日(木)14時からと決定

以上

(文責 藤間、横田)

# 平成29年度 第1回理事会議事録(抄)

日 時：平成29年5月14日(木) 11時～12時

場 所：如水会館1階 如水コンファレンス

## 1 議長及び議事録署名人指名

議長：中谷理事長 議事録署名：理事長、両監事

## 2 定足数確認

[出席者] 理事長 中谷信一 副理事長 北村忠一、唐橋 宏

理 事 佐藤正光、阿部成男、小笹富貴子、山本 剛、廣澤幸雄、芳田時夫

落合輝美、加藤 憲、板倉敏和、谷端淳一郎、藤間英雄

監 事 安井良博、腰原 好

事務局 横田節子

## 3 議長挨拶

## 4 報告事項

### (1) 事務局 藤間説明

① 入退会承認・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料1 了承

② 第4回定時社員総会

議長候補者、定足数・・・・・・・・・・資料2 了承

追加資料：財務諸表・・・・・・・・・・資料3 了承

会員意見・要望・・・・・・・・・・資料4 了承

③ 本部支部連絡会議 6月9日(金) 麵業会館 了承

③ 役員傷害保険について 役員の障害事例1件発生、事後処理完了。

次年度から保険料軽減のため死亡後遺障害のみの契約とすることを検討する。 了承

### (2) 段位認定事業部 加藤説明

① 段位認定制度審議会の開催(資料なし 口頭報告) 了承

② 29年度全国認定会の練習用そば粉販売について

購入は受験者の自由意志なので29年度も28年度の販売価格を据え置く。 了承

### (3) 企画渉外部会 廣澤説明

① モンゴル視察訪問について

10月4日～9日、10月4日～11日の2行程 了承

## 5 議 題

### (1) 事務局 藤間説明

① 全麵協会会計報告について

今後の総会に提出す決算書類等は法律の規定通りに行う。理事会報告は別途考える。了承

② 29年度理事会日程について 7月6日(木)、11月16日(木)、3月15日(木) 了承  
以上

(文責 藤間、横田)